

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等				
事業毎の通番		10	市町村名	小川村	箇所名(ふりがな)	中後(なかご)		
事業概要	事業目的	平成23年5月豪雨により、当該渓流内に堆積していた土砂が下方村道へ流出した。当該渓流内は脆弱な地質であり、大雨の度に土砂が流出することから、これまでに12基の谷止工が施工されている。しかし、経年変化により谷止工の老朽化による機能低下や渓岸浸食が進行しており、渓流内は不安定な状態となっている。今後の降雨により再度、不安定土砂が下方へ流出する恐れがあることから、新たに谷止工を施工し、溪流の安定を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上(災害に強い森林づくり)		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家 10戸、村道 200m、農地 1.00ha、						
	着手年度	平成29年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	2.62	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	谷止工 2個			42,800	21,400	19,260	2,140
	年度事業内容(主な工種)	谷止工 1個			21,600	10,800	9,720	1,080
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家10戸、村道 200m、農地 1.00ha					
		間接的効果(定量的・定性的)						
評価の視点	必要性	○人家戸数:	10戸	評価	C			
		○公共施設数:	村道					
	重要性	○災害時要援護者関連施設の有無:	なし	評価	A			
		○保安林・林業用施設:	保安林(29%)					
		○過去の災害履歴:	あり 平成23年5月29日豪雨災					
	効率性	○交通遮断による地域経済への影響:	影響度中 溪流末端部周辺に集落有り	評価	A			
○地域防災計画上の位置付け:		あり						
○費用便益比(B/C):		2.62						
○事業期間:		2年 (H29~H30)						
緊急性	○工法等の比較検討:	なし	評価	A				
	○流域の総合調整:	あり						
	○流域の地形、地質:	第3紀層泥岩						
計画熟度	○平均渓床勾配(平均山腹勾配):	平均渓床勾配 5°	評価	A				
	○下流の堰堤等の整備状況:	あり						
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: 土砂災害特別警戒区域、崩壊土砂流出 588-12 B							
	○事業情報の共有:	地元住民他と調整済					評価	B
○地域の取り組み:	地域住民、小川村から事業計画に対し要望がある							
部意見	○地域の合意形成:	現地打合の際、周辺関係者との合意形成が図られている	評価結果	総合評価				
	○住民との協働:	地元住民による草刈						
部意見	今後の降雨等により不安定な土砂が下方人家等に流出する恐れがあるため、対策工事を行う必要がある。	行政改革課意見	流域内には不安定土が存在し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあるため、重要性、緊急性が認められる。	○	B			

事業概要説明図表	[位置図、平面図、構造図等](縮尺任意)		
			
事業概要説明図表			
	<p>H29谷止工計画位置: S52施工谷止工が経年劣化しており、下流右岸側の渓岸浸食も進行している。</p>	<p>H30谷止工計画位置: 下流右岸側の渓岸浸食が進行している。</p>	
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地域は、新第3紀層の泥岩地帯であり、固結度が緩く、また風化しやすい地質である。社会的には、昭和初期から養蚕が行われ集落が山間部に点在している。当該渓流では、過去に幾度も豪雨の際、下流へ土砂が流出したことから、多数の谷止工が施工されている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該渓流には、現在までに12基の谷止工が施工されているが、経年変化により谷止工の老朽化による機能低下や渓岸浸食が進行しており、渓流内は不安定な状態となっている。平成23年5月29日の豪雨時に下流村道へ土砂が流出し、この時から新たな治山施設設置の要望があがっている。	
	③事業説明等の経緯	現地調査に基づく、復旧に関する概要計画について平成28年7月12日に地元住民へ説明し、了承を得ている。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	このままでは豪雨等により、再び土石流等が発生するおそれがあるため、早急な対策が必要。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	渓流内の不安定土砂の下流への流出により、流路工の維持管理に影響を及ぼすおそれがある。	
	⑦その他		
		事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 37' 東経:E 137° 57'